

山行報告書

報告書作成

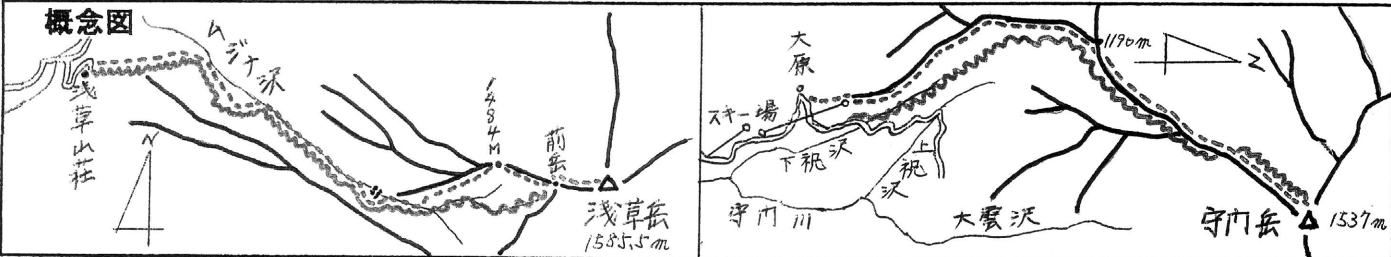
2008.5.14

山名 [山域]	浅草岳・守門岳 (越後只見)	目的と方法	山スキーを楽しむ
登山期間	H20.4.26 & 4.28	山行形態	日帰り・ピストン・山スキー
参加人数	2人		

行動記録

(4/26) 浅草山荘① 6:24 → 8:00 ムジナ沢 → 8:37 休憩 9:00 → 10:20/1100m 滝筋 10:45 → 12:47
 1484ピーク → 13:39 浅草岳頂上 13:58 → 14:05 前岳 14:20 → 16:28 浅草山荘①
 (4/28) 大原 (奥越国祭大原スキー場) 7:41 → 8:20 頃休憩 → 9:05 休憩 → 11:50 稜線大休止
 → 12:50 守門岳頂上 → 15:40 大原

概念図



日誌

前夜五味沢の浅草山荘①到着。車中泊。(4/26) 起床、回りに積雪のない所が多く心配になるが地形図を見て磁石にて進み、短林道はシル登山OK。終点より林間を行き、ムジナ沢に出るが沢筋はスノーブリッジがすべて崩壊、通行不可。見上げると右上にゆるい斜面でトラバース出来そうな所を見付け、地形図で確認。注: 具合に標高830m・スノーブリッジ崩壊との境目に出、ムジナ沢に降り、バックに守門岳を見て雪の詰まっている沢を快適に登ると、1100m地点の滝に出、右から巻き上り、沢にもどる。1484m峰からの尾根、取り付く予定であったが尾根上はツブが出ていたので、側面をジグザグにシル登山。1484m峰から前岳を経て、浅草岳に着く。山頂付近は雪はなく、スキーをデポし、少し登ると見覚えのある山頂に出た。只見湖が眼下に見え、守門岳や越後駒ヶ岳などを見ていたが、アタレが降り、回りが霧で見えなくなり、下山を始めた。シルを着けたお前岳まで行き、シルを取り、前岳直下より、ムジナ沢へ快適な滑降を始めた。とても楽しく、滝の上に出て巻いて、また沢を滑り、830m地点より登りの時より大きく巻き近道をとって進み、ずいぶん下方向に行くと登りの通知があったりして、磁石で進むと、バッチリ林道に出て浅草山荘に滑り込む。(4/27) 天候不順で中止。夜後発の4人と合流、11Eス内で宴会。(4/28) 5時昨日からの雨が降りつづいている。朝食後雨が止んだので、大原へ移動、ムジナ沢よりシル登山開始。リフト終点をへて尾根に登る。始は良かったがヤブが出て、雪のある所も進むが所々途切れている。眼下に下祝沢が見わたせ、雪面が上のうまでつながら、山スキーの登山者が登っている。下りはそちらからと決める。急斜面になり、スキーをザックに着け、1150mまで登り、シル登山再開。真白な広く、短い稜線を1348mまで登ると、山頂までのルートが見渡せ、コースを定め、上部は雪底をさけて左側を通り、頂上近くまで行き、スキーをはずして、20m程で守門岳山頂に着き、皆で握手、休憩後、下山開始。楽しい滑降の始まりは、尾根の西側を行き、1348mよりゆるい斜面を1170mまで滑り、南の尾根に入ると、じきに急斜面になる。一ヶ所スキーをはずしたが登る時見えていた下祝沢上部の急斜面を楽しく滑降し、広く短い斜面から、水流の出る沢添いを滑ると、道路に出てスキーをはずす。少し歩き車にもどった。下山後、入道瀬の寿和温泉ドリームタウンにて入浴。4人と別れ、予備日の(4/29)は温泉ツアーを楽しむ。

感想

浅草岳は朝晴れていたが登り下りも、時々雨が降る中、山スキーであったが、ルートファインディングが面白く、楽しい山行に成りました。守門岳で猟銃を背負った2人のマタギが1160mあたりで現われ、二人を所まで登ってくるのかと驚いた。急な下りをマタギたちはスコップの柄だけを持ち、雪にさして下って行った。